

軽音楽部が芦別で合同合宿

厚別高と滝川工業高

【芦別】札幌厚別高と滝川工業高軽音楽部の「合同芦別合宿」が7月31日から2日まで星槎国際高等学校芦別学習センターで行われた。

これから開催される軽音楽の全道大会に向けて実施された合同合宿。札幌厚別高は、2019年から学校の夏休みと冬休みを利用して、年に2回実施している。滝川工業高は、昨年夏から札幌厚別高との合同合宿に参加している。

芦別合宿をサポートしているのは「芦別が『音の降る』ふもとになることを願って」支援する音の降る里あ

しべつプロジェクト実行委員会（坂田啓一郎実行委員長）。今回もバーベキューなどで歓迎し、ハードな練習をサポートした。また、1日に国設芦別スキー場で開催された真夏のイベント「第10回キラ☆フェスタ2026」にも札幌厚別高軽音楽部の部員が初参加し会場を盛り上げた。

3日間の芦別合宿を締めくくる最終日の2日には、練習の成果を発表するライブが行われた。

発表のステージには部員35人の札幌厚別高の9バンド。同9人の滝川工業高の2バンドが参加。楽器やマイク

の音量調整などを行いながら、練習の成果を発揮する演奏と歌を披露した「写真」。

また発表会終了後には、シンガーソングライター・JUNさんをゲストにスペシャルライブも行われ、会場は大盛り上がり。JUNさんが、参加した部員の今後の活動にエールを送ると、一際大きな拍手が送られた。

【沢田忠良】

